

# 「Do you know 能？」第九弾～ガイドなら一度は観ておきたい能楽

「コロナに負けるな！応援価格」にて・名作「鉢木」を！

2022年2月26日（土）JGA 第一支部研修終了報告

2月26日、第一支部研修「Do you know 能？」第九弾が開催されました。凍てつくような寒さが和らぎ、春の訪れを体感できた朝、国立能楽堂に24名（会員14名、非会員8名、委員2名）が集まりました。北海道や大阪からの参加者もいらっしゃいました。



まずは、第一部「能を学ぶ」です。国立能楽堂営業課の羽鳥道成氏からは、国立能楽堂の最近の動向、国立競技場エリアの最近の開発などのお話がありました。観世流シテ方能楽師の伶以野（レイヤー）陽子師からは、アメリカ人のご主人との対話や、外国人へのワークショップの豊富なご経験から、自ら会得された外国人への能楽の説明の工夫などのお話の後、能舞台の上から、「能楽とは何か」を、様々なジェスチャーと共に、とても分かりやすく、ご講義いただきました。

次に、第二部「能を体験する」です。まず、その場で、能の基本の動きや、午後から鑑賞する演目「鉢木」の謡の練習をしました。それから、能舞台に上がって、ゆっくりと歩きます。その時、気分はもう能楽師です！

その後、22名がお食事処で昼食をとり、限られた中ですが、交流を楽しみました。また、能楽堂資料展示室で開催中の展示「能面・能装束展」をご覧になる方もいらっしゃいました。



午後は、いよいよ第三部「能を観る」です。小林健二氏による解説・能楽案内に続いて、狂言「酢薑（すはじかみ）」、能「鉢木（はちのき）」を鑑賞しました。小林氏の解説もさることながら、第一部で伶以野師から「鉢木」の構成や特徴を教えていただいていたので、より深く演目を理解し、味わうことができました。

朝10時に始まった研修は、夕方15時半に終わり、能の世界を堪能された参加者からは「能の講義がとても面白く、わかりやすかった！」「また是非企画を！」との声が聞かれました。

能楽堂特製ファイルを手にと、生き生きとした笑顔で帰途につかれる参加者の姿を見送りながら、ふと、伶以野能楽師のおっしゃっていたように、能は忙しい日常からくる疲れをほぐし、ささくれた心をいやしてくれるのかもしれない、と思いました。

